

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-2	政策名	工業の振興	政策の 目指す姿	企業が高い競争力を持ち、生産活動を活発に行っています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	古川 昌
	施策No.	1	施策名	技術力・経営力の向上	施策の 目指す姿	企業の技術力や経営力が向上しています	関係課名			
	現状と課題	<p>・経済のグローバル化により、海外からの影響を受ける、いわゆるグローバルリスクが発生しやすくなっており、生産拠点の海外移転などのメーカーの動向が、市内企業にも影響を及ぼしています。</p> <p>・生産活動については一部持ち直しの傾向があるものの、長期的な経済情勢の低迷により、製造業の純生産が落ち込み、先行きの不透明感から設備投資は慎重な姿勢が続いています。</p>								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性)

- ・タイムリーで即効性のある支援メニューを整備する。
- ・企業競争力強化支援事業は、将来の事業化に向けたきっかけとなるものであり、更なる展開や事業参入に取り組めるよう支援機関のコーディネーター等の伴走支援を強化する。

(反映状況)

- ・市内企業のさらなる事業展開や新分野参入に向けて、企業競争力強化支援事業補助金の支援メニューの追加・整理を行った。
- ・支援機関によるコーディネートなどの伴走支援の在り方を検討するとともに、FY30より専門の相談体制を整備することとした。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 技術力・経営力の向上支援

- 産学共同研究等の推進
 - ・産学共同研究、展示会出展、人材育成、特許等の産業財産権取得など企業競争力強化に資する取組にかかる経費の一部を補助
- 円滑な資金調達の支援
 - ・市内金融機関との連携による運転資金・設備資金等の融資制度を通じ、円滑な事業資金の調達を支援
 - ・上記資金融資に対し、利子の一部と保証料を補助することで、中小企業の経営基盤安定を支援
- 経営課題の解決や技術開発の支援
 - ・大学の研究者、民間企業OB、税理士等の専門家を産業支援アドバイザーとして登録・派遣し、経営課題の解決、経営戦略の構築等の取組を支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業数	企業が抱えている技術・経営の課題解決や技術力・経営力に磨きをかけるため、即時的な効果が表れないものの、企業競争力制度の活用や専門家等の助言を受け、長期的な観点から技術力・経営力の向上に向けた取組を示す指標	出典：商工労政課 ・企業競争力強化支援事業を活用した事業所数 ・産業支援アドバイザー・専門アドバイザーの派遣を受けた事業所数 ・起業化支援センターコーディネーターが支援した事業所数	社	目標値	-	71	80	100	100	100
				実績値	-	71	114	121		
融資実行件数(設備投資)	企業の技術力・経営力の向上度合を示す指標	出典：商工労政課 ・中小企業振興融資における設備投資の新規貸付件数をカウントする	件	目標値	60	60	60	60	60	60
				実績値	46	58	62	63		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業数」…【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用企業数の実績は、29年度121社(+7社)。企業の体質改善や経営力強化に資する企業競争力強化支援事業や起業化支援センターのコーディネーターによる支援体制が徐々に市内企業へ浸透してきた結果であると史料される。 <p>■成果指標「融資実行件数(設備投資)」…【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低金利という状況にありながら、前年に比べ貸付件数が増加し全体でも目標を上回った。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1-1	技術力・経営力向上支援事業 展示会出展や人材育成など企業競争力の強化に資する自立的活動を支援 (企業競争力強化支援事業補助金交付件数:50件)	商工労政課	一致	直結	C
			A		
1-2	技術力・経営力向上支援事業 産業支援アドバイザー等の派遣により企業の経営課題の解決について個別支援 (産業アドバイザー派遣件数:6件)	商工労政課	一致	直結	C
			A		
1-3	技術力・経営力向上支援事業 花巻工業クラブ及び産業のまちネットワーク推進協議会が行う事業への補助金・負担金の交付	商工労政課	一致	間接・ 補完	C
			B		
2	起業・新事業展開推進事業費 市内企業の育成と発展を目的とした新規創業及び新事業展開への支援 (起業化支援センターコーディネーターの市内企業への支援件数:65件)	商工労政課	一致	直結	A
			A		
3	中小企業振興融資事業 原資を金融機関に預託し、中小企業への円滑な事業資金の調達を支援 (設備投資の融資件数:63件)	商工労政課	一致	直結	A
			A		
4	サービス業生産性向上支援事業 作業効率や生産性のカイゼンに取り組む市内のサービス業事業者への補助金の交付 (サービス業での専門家を活用した生産性向上支援事業補助金交付件数:2件)	商工労政課	一致	直結	A
			A		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・企業競争力強化支援事業は、企業ニーズに対応した支援メニューの拡充や見直しを随時必要であり、今後の動向を見据え、適宜対応していく。</p> <p>・産業アドバイザー支援事業は、起業化支援センターコーディネーターによる企業への紹介や斡旋の強化を図るとともに魅力的なアドバイザーの発掘が必要である。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・企業競争力強化支援事業は、企業単体での取組のほかグループ化を進めるメニューもあるが、活用実績が少ない状況であることから、地域企業との連携による取組を促すことや、本補助金のステップアップとして公募型補助金や市の成長分野、農商工連携補助金の活用につながる継続的な支援が必要である。</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・制度を有効に活用して企業がいる一方で、一部では予算の執行残が出ている状況である。いっそうの活用が図られるよう、メニューや手続き面での必要な見直しやPRを行う必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・国内外の経済情勢や企業ニーズに即応するため、支援メニューのスクラップアンドビルドを随時行うとともに、企業競争力強化支援事業については、将来の事業化に向けた契機となるものであり、さらなる展開や事業参入に取り組めるよう支援機関によるコーディネートなどの伴走支援を強化する。</p>
